

公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU)

2022 年度 (令和 4 年度) 臨時理事会 議事録

[1] 開催 : 2022 年 4 月 19 日 (火) 18:00~19:45

・方式 : インターネット・ウェブ会議 (zoom)

・運営会場 : Japan Sport Olympic Square7 階 708 (新宿区霞ヶ丘町)

[2] 出席 (理事 27 名、監事 2 名) :

岩城光英、仲井公哉、中山正夫、岸田吉史、鈴木貴里代、和田知子、村瀬訓生、
富川理充、関根明子 (19 時 2 分退出)、

佐藤圭一、原澤敦美、齋藤れい (18 時 05 分入室、19 時 31 分退出)、森幸、
石井なおみ、豊岡正康、大関辰郎、園川峰紀 (18 時 58 分退出)、島津寿江、
宮本悦子 (18 時 54 分退出)、大野徹雄、村上幸生 (18 時 05 分入室)。

以上、理事 24 名オンライン出席。

大塚眞一郎、山倉紀子、山根英紀、

以上、理事 3 名運営会場出席。

萩原政吉、秋山智昭。以上、監事 2 名オンライン出席。

・オブザーバー (2 名)

近藤邦宏 (トライアスロン HPT アシスタントディレクター)、土屋佳司 (パラト
ライアスロン HPT マネージャー) HPT=ハイパフォーマンスチーム、

・事務局出席 (7 名) 坂田洋治、児玉健太、長江千明、小池賢、大岩葵、内藤裕也、
萩原舞 (議事録作成)

[3] 議事の経過

JTU 定款第 6 章 (理事会) 第 34 条 (決議) により、ウェブ会議進行役の児玉事務局次
長が、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。

定款 33 条 (議長) により、岩城会長が議長として開催宣言を兼ねた挨拶を行い、同第
23 条 (理事の職務及び権限) による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告され
た。その後、定款第 35 条 (議事録) により、岩城会長、萩原監事を議事録署名人、大塚
専務理事、島津理事を議事録確認の署名人とし、議事録作成者に事務方を指名し、直ち
に議案の審議に入った。

[4] 決議事項

第0号議案) 2021年度(令和3年度)第5回 定時理事会 議事録

2021年度(令和3年度)第5回定時理事会(3/23)の議事録案について、メール回覧済であるとの児玉事務局次長の報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2021年度(令和3年度)第5回定時理事会(3/23)議事録案

第1号議案) 第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)トライアスロン競技日本代表選手選考基準案

標題について山根理事/ハイパフォーマンスチームディレクター、事務方より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、一部記載方法の修正を加えることで異議なく承認可決した。(棄権1名)

- ・承認事項) 第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)トライアスロン競技日本代表選手選考基準案

- ・説明骨子) 2024パリオリンピックの目標を「入賞を確実な達成目標として、その先にあるメダル獲得を目指す」と掲げ、「ランキング(OQR)」と「選考大会の順位」を評価軸に選考を行う方針とした。留意事項として、感染症や紛争等の世界情勢への対応が盛り込まれた。

- ・補足事項) 選考方針項目内「日本代表選手に求められる能力」についての記載内容について、修正を行う。

第2号議案) 大会事業関連

標題について鈴木常務理事と坂田マーケティング事業局長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項1) アジアトライアスロンカップ(2022/蒲郡)開催中止

- ・承認事項2) アジアカップの開催返上に伴い、代替えの大会として国内エリート対象大会を開催する。

- ・説明骨子) 海外選手の受け入れにおいて政府の水際対策に準じた十分な態勢が整わないことから、アジアカップを返上し、公募大会である日本スプリント選手権も視野に入れた国内エリート選手向け大会の開催を検討する。

- ・承認事項3) 北海道トライアスロン(大会)へのJTU後援申請の承諾

第3号議案) 役員関連

標題について大塚専務理事より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) 理事候補案 (2022年5月役員候補者選考委員会提出)

前回理事会で承認された定款の変更案 (2022年6月社員総会提出) 理事5名以内の増員に伴い、理事候補として土田和歌子 (パラリンピアン)、谷真海 (パラリンピアン)、原晋 (青山学院大学教授)、高谷正哲 (東京オリンピック・パラリンピック組織委員会スポークスパーソン)、中山俊行 (前JTUオリンピック対策チームリーダー) を推薦する。敬称等略。

・説明骨子) パラトライアスロン競技の普及推進、他競技との連携、アスリートのセカンドキャリア、国際面でのネットワーク拡大、地域振興などの役割への貢献を期待し、5名を新理事候補として役員候補者選考委員会の選考を経て、社員総会へ推薦する。

第4号議案) 海外NFとの相互支援提携

標題について児玉次長より説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) オランダトライアスロン連盟とのMOU締結

審議進行に関わる確認)

議案審議が19時31分に終了し、議長に代わり児玉事務局次長が、審議に関わるインターネット接続等において聞き取れなかったことや発言できなかったことなどがないかを確認した。格別な発言がなく、インターネットによる議事進行は滞りなく行われたことを確認し報告した。

[5]報告事項

(1) 沖縄県関連報告と今後の方向性

沖縄県連合からのJTUへの相談事象 (沖縄県内のトライアスロン教室および個別記録会に関する内容) および、2022年3月27日に開催された沖縄県認定記録会に対し、同チームの関係者を含む参加選手保護者からのJTU事務局への相談・ご意見が7件あったことに対し、仲井副会長・児玉次長の2名が沖縄県石垣島を訪れ、関係者のヒアリングを行った。対応方針として、3月27日の認定記録会の記録については認定すること、および、技術委員会とJTU事務局のサポートを以て2022年5月8日に別途認定記録会

を開催することが報告された。

(2) 高校生普及委員会より、2022年2月に加盟団体に向けて行った高校生出場可能大会のアンケート結果共有が報告された。

[7] 閉会宣言

仲井筆頭副会長のあいさつの後、本日の理事会すべてが終了したことが告げられ、19時45分に閉会した。

議事録署名と確認：

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2022年 月 日

(荻原政吉・監事) (印) 2022年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2022年 月 日

(島津寿江・理事) (印) 2022年 月 日